

平成 14 年 11 月 12 日

各 位

東京都港区虎ノ門4丁目3番13号 秀和神谷町ビル  
**株式会社シンプレクス・テクノロジー**  
代表取締役社長 金子 英樹  
(コード番号: 4340 JASDAQ)  
問い合わせ先 アドミニストレーショングループ  
バイスプレジデント 澤田 正憲  
TEL 03 - 5408 - 3801 (代表)

## 「仕組債取引支援システム」をシティグループ・プライベートバンクに納入

株式会社シンプレクス・テクノロジー(本社:東京都港区、以下 シンプレクス)は、このほど「仕組債取引支援システム」をシティグループプライベートバンク(以下 シティバンク)から受注しました。

シティバンクでは、富裕層向けプライベートバンキングサービスの一環として独自の金融商品をご提案しており、その一環としてデリバティブを組み込んだ金融商品の提案を行っております。

今回、シティバンクでは、「仕組債取引支援システム」のうちフロントの時価評価モデル部分をご導入いただいております。同行では導入効果として、『顧客ニーズに合わせた金融商品の提案による顧客満足度の向上』、『業務の効率化』、『ビジネスの拡大』などを見込んでいます。

シンプレクスでは、「仕組債取引支援システム」を販売展開しており、準大手証券会社を始めとして、当該システムでは NO.1 の導入実績を誇ります。このシステムは、仕組債取引の時価評価、約定管理、期日管理、損益管理、リスク管理に加え、マーケット情報取込機能やレポート機能なども有するフロントからミドル機能までをフルサポートする総合的なシステムです。シンプレクス・ライブラリをベースに、パッケージ商品として再構築したもので、対応商品も、金利、為替、株式と幅広く対応していることに加え、ユーザーの希望により新商品の追加も可能な設計となっております。ほぼ全ての複合商品を扱うことができます。また、自社開発パッケージであるため、外部インタフェースやプライシングモデル、追加商品などのカスタマイズへ対応が柔軟にできる設計になっています。

当システムは、Microsoft(R) Windows(R)上で稼働することによって既存のハードでの稼働を実現し、導入コストを極めて低く押えることができます。

シンプレクスは、今回シティバンクへの導入実績をベースとし、「仕組債取引支援システム」を始めとする金融フロンティア領域のシステムの拡販を銀行業界に対しても推進していく計画です。

なお、当該受注に対する当期業績への影響は、既に折込済であります。

以上